

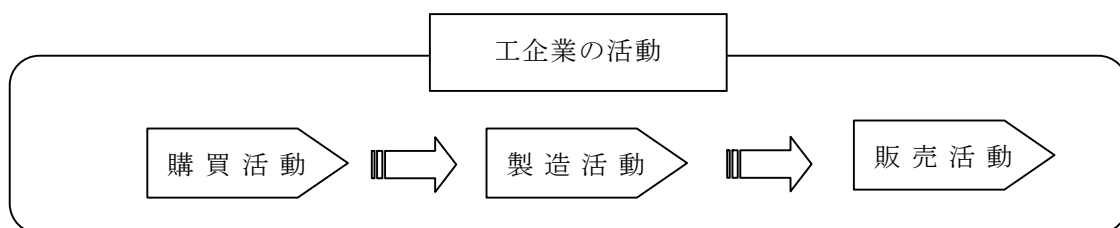
第 1 節

工業簿記と原価計算

1. 工業簿記の意義

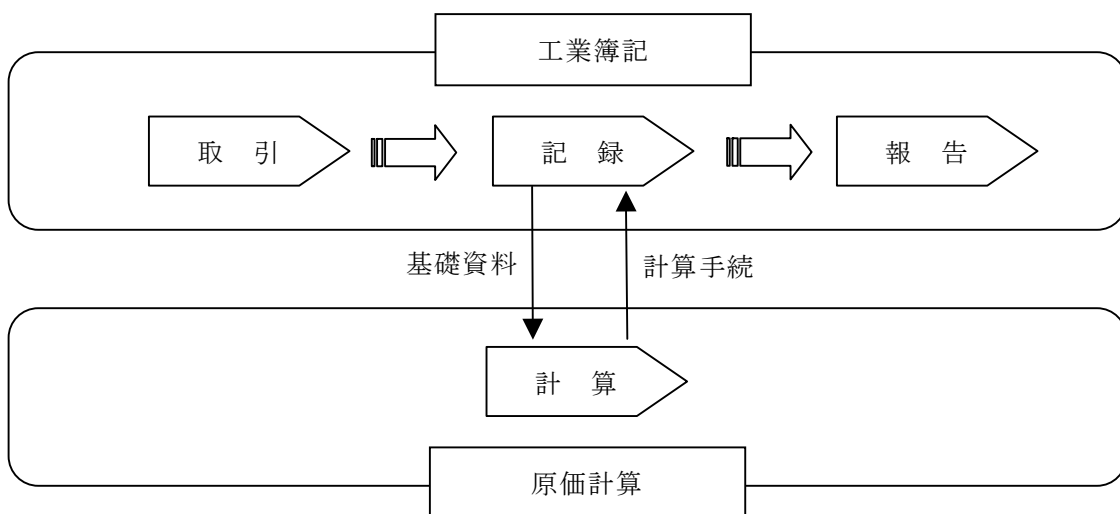
工業簿記とは、工企業において適用される簿記をいう。

工企業とは、製品を製造するために必要な原材料を購入し、これを労働力や生産設備を用いて加工し、生産された製品を外部に販売して利益を獲得することを目的とした企業である。



2. 工業簿記と原価計算

工業簿記は、製造活動を含む経営活動を記録・計算・報告するものであるが、経営活動のうち製造活動の計算には、複雑な計算手続が必要となる。そこで、正確な製品原価の計算技術として「原価計算」が必要となる。



3. 工業簿記の勘定体系

製造原価の計算は費目別、部門別、製品別の3段階で行われる。工業簿記の勘定体系は次ページのようになる。